

みらいずworksの10年の歩みと成果

2012年 4/1創立
 2013年
 2014年
 2015年 事務所移転
 2016年 NPO法人化
 2017年
 2018年
 2019年
 2020年

教育ファシリテーション 文化の構築、浸透	<ul style="list-style-type: none"> ● いがたファシリテーション授業研究会事務局運営（～2017） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「わくわくファシリテーション入門」（新潟日報事業社発行）の共同執筆 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「教育ファシリテーター養成講座」企画・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「教育ファシリテーション入門」（みらいずworks TEXT SERIES発行）の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「これができる！わくわくファシリテーション」（新潟日報事業社発行）の共同執筆 	<ul style="list-style-type: none"> ● 私立高校の授業改善プロジェクトの支援（2ヶ年） 		<ul style="list-style-type: none"> ● ハイブリッド授業研究会の設立支援、事務局運営
キャリア教育推進 小中高校の	<ul style="list-style-type: none"> ● 仙台市で文科省委託「復興教育支援事業」 ● 佐渡市で小学校高学年の出前授業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「みらいずBOOK」創刊 	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡市教育委員会の委託により、市内中学校にて課題解決型職場体験を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新潟市協働事業市内3校の中学校課題解決型キャリア教育の企画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡市教育委員会と協働で課題解決型職場体験ガイドを作成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文科省「キャリア・パスポート」導入に向けた調査研究協力者会議教職者に小見が就任 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新潟市ギガスクールサポーター配置業務受託（コンソーシアムにて） 	<ul style="list-style-type: none"> ● みらいずBOOKvo.6をNIIGATA探究マガジンとしてリニューアル発行 ● みらいずBOOKのワークブック「みらいずNOTEBOOK」を発行
カリキュラム開発・支援 高校探究学習	<ul style="list-style-type: none"> ● 私立高校の年間を通じたキャリア教育支援（～2019） 			<ul style="list-style-type: none"> ● 新潟市委託事業市立3高校の地域魅力創造事業の企画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「みらいずカレッジ」第1期 実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「みらいずカレッジ」第2期 実施 ● 「みらいずカレッジ」第3期 実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県立高校の探究学習カリキュラム・プログラムの作成支援スタート 	<ul style="list-style-type: none"> ● 探究学習に関する調査実施・「NIIGATA探究白書」の発行 ● 「探究学習ラーニングコミュニティ」第1期 実施
協働体制の構築 子どもを核とした		<ul style="list-style-type: none"> ● 文科省「学校の総合マネジメント力の強化に関する調査研究」で「地域みんなで子どもたちの未来を考えるワークショップのすすめ」の開発に参画 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文部科学省「学校の総合マネジメント力の強化に関する調査研究」で「地域みんなで子どもたちの未来を考えるワークショップのすすめ」の企画・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小見が文科省CSマイスターに就任 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小見が文科省「学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究」コンサルタントとして各地に調査、訪問、アドバイスを 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小見が文科省「地域みんなで子どもたちの未来を拓くワークショップのすすめ」冊子を作成、全国に配布 	<ul style="list-style-type: none"> ● 胎内市築地地区コミュニティ・スクール設立支援（2ヵ年） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 阿賀町コンソーシアム設立支援事業を受託。学校運営協議会のアドバイザー就任
社会の動き	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学校及び特別支援学校中等部の新学習指導要領全面実施 ● 文部科学省が「いじめの実態について」全国調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● いじめ防止対策推進法成立 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2012年度PISA調査のうち「問題解決能力調査」の結果を公表 ● 「持続可能な開発のための教育」について話し合う国際会議が行われる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央教育審議会が「地域創世の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方などについて」文部科学大臣に答申 ● 国連サミットでSDGs（持続可能な開発目標）が採択 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央教育審議会が「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について」を答申 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文部科学省が「地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン」を策定 ● 「大学入試共通テスト」の施行調査実施 ● 学校運営協議会の設置が努力義務化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 成年年齢が20歳から18歳に引き下げ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文科省事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」がスタート ● 高校における「総合的な探究の時間」の試行開始

生み出した成果

全国各地で、新潟で構築した教育ファシリテーション文化を広く発信

9事業・436人（2016年度）
 22事業・1478人（2017年度）
 11事業・1497人（2018年度）
 16事業・1612人（2019年度）

58事業・5023名

佐渡市と課題解決型職場体験を協働で仕組み化他県や県内でも導入支援

40事業・2335人（2016年度）
 27事業・2970人（2017年度）
 33事業・3241人（2018年度）
 12事業・1123人（2019年度）

112事業・9669名

新潟県内の高校教員や関係者のネットワークを構築し、先進的な取り組みを支援

0事業・0人（2016年度）
 0事業・0人（2017年度）
 4事業・689人（2018年度）
 12事業・2645人（2019年度）

16事業・3334名

子どもを核とした大人の関係性づくりや対話の重要性を冊子や熟議を通して啓蒙

31事業・1628人（2016年度）
 29事業・1575人（2017年度）
 45事業・2155人（2018年度）
 25事業・1343人（2019年度）

130事業・6701名